

研究課題番号	1-2304
研究課題名	AI とリモートセンシングがつなぐ街から海岸までの包括的プラスチックごみ観測網の構築
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	鹿児島大学
研究代表者名	加古 真一郎

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

多面的で挑戦的な検討を続けており、各サブテーマともに計画通りあるいは計画以上の成果を挙げている。各種手法による観測や解析を統合的に取り組み、環境省発表のガイドラインに貢献するなど、高く評価する。今後も意欲的に研究を進めて頂きたい。ただ、専門用語やサブテーマ間の連携にわかりにくい点があるので、理解しやすい説明を期待する。本研究では、点としての街中のゴミの質と量の計測値から面分布を予測し、さらに河川を流れるゴミの量に繋げる点が難しい。説得力のあるモデルの構築を期待する。農業起源のごみを考慮する必要はないか。本年の豪雨や強風の影響に関する解析が良い事例研究になろう。今後は、具体的にこうセンシングすれば、このようなデータが取得でき、このように行政に役立つという点を示してほしい。また、我が国周辺域だけではなく、地球全域、特に排出量の多いアジア諸国でも利用される手法として確立していただきたい。